

令和6年度 第4回甲賀市社会教育委員の会議 定例会議事録(要約)

日時：令和7年(2025年)1月22日(水)

15時00分～16時40分

場所：あいこうか市民ホール展示室

出席者 (委員)西村委員、岡村委員、井ノ口委員、辻委員、古賀委員、東委員、  
松本委員、木村委員、福井委員 以上9名  
(事務局)伊東課長、上村参事、沢井社会教育統括指導員  
(公民館長)増山館長、清水館長、井上館長

傍聴者 なし

委員総数12名の内、9名が出席。甲賀市社会教育委員会議規則第3条第2項の規定により、過半数を満たし会議成立。

1. 開会 市民憲章唱和
2. 課長あいさつ
3. 委員長あいさつ
4. 研修 「竜王町公民館における社会教育の取組」

講師 竜王町公民館地域学校協働本部統括マネージャー 関川雅之先生  
資料に基づいて、1時間10分講演

5. 質疑

(委員)多くの方が、ボランティアにかかわっておられるが、無償なのか。

(講師)地域の方が、学校に入る場合は無償。地域の活動に参加される場合は、有償。

子どもたちが参加する場合、材料費等は有償で受益者負担の原則で行っている。

(委員)クラブ活動に地域の力を導入する突破口は。

(講師)突破口がありません。学校から要請があった。要請があつてボランティアを集める。

年間12回。主導権はあくまでも学校。学期ごとに希望をとって開催する。

(委員)竜王小と西小、竜王中学校が合同授業研究会の際に地域の方が、自習監督をされていたのを見たが、どのような経過で行われているのか。

(講師)自習監督といっても教員OBが行っている。小学校からの要請だが、年間計画の中で入る事業を決めている。長い積み上げの結果である。できないことはできないという。中学校の部活には、まだ入れていない。

(委員)それだけのスタッフをどう集めておられるのか。

(講師)今のスタッフに他の人を誘ってもらう。保護者は、参観を兼ねてスタッフになってもらう人もいる。卒業する時に次の方を探してもらっている。

(委員)学校が始めたコミュニティ・スクールに私立園をどう巻き込んでいくのか。

(講師)私立園から要請があれば、同じ竜王に暮らす子どもとして、対応を考えていけばよ

い。持ちつ持たれつの関係になればよい。

(委員)学校から地域への要請をどのように引き出せばいいか。

(講師)学校へ足を運びニーズを求めること。また、様々な活動で子どもたちが変わるとい  
う実感を持ってもらうことが大切。子どもたちの感動が、先生の感動になる。そのこと  
で先生が、この活動をしないといけないと思ってもらえるようにする。

(委員)コーディネーターが4名おられるとのことですが、その方々はどのくらいの頻度で  
学校へ行っておられるのか。

(講師)私は毎日行っていますが、他の方は毎週1〜2回入ってもらっている。

(委員)活動の資金はどうなっているか。

(講師)コミュニティ・スクール各校に5万円、足りない場合は、物品販売の収益で賄って  
いる。企業の協賛金も考えている。

(委員)公民館の講座は、3年以上しないってということで、そこを卒業された方が、ボラン  
ティアスタッフになっているのか。

(講師)なってもらっている。サークルになっても自立できるよう支援している。

#### 6. 副委員長よりお礼の言葉

#### 7. 連絡事項(事務局より)

配布物の確認

県社会教育委員連絡協議会 第3回理事会 委員長出席

次回は3月に予定 内容は、委員長副委員長と協議

提案や研修が続いたので、次回は委員でじっくり協議をしたい

#### 8. 副委員長閉会のあいさつ